

ちえのわ

2023年5月30日発行 第3号 文責：奥

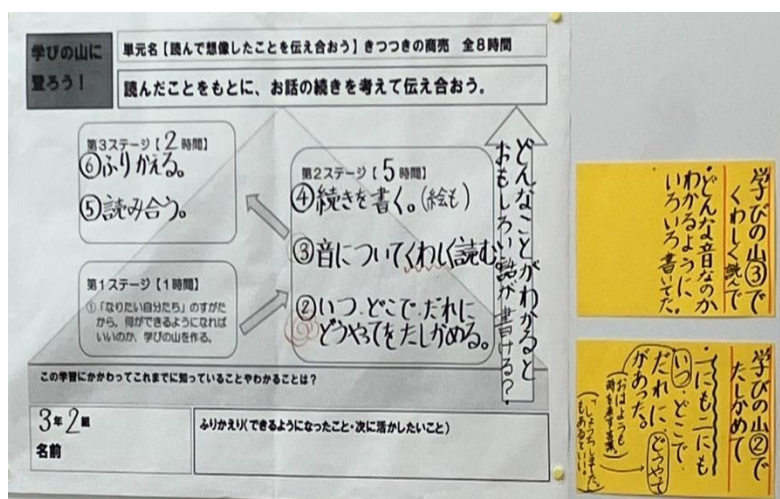
5/23 提案授業 西保先生お疲れさまでした！

5月23日2校時，3年2組，西保先生の学級で提案授業がありました。(国語科，物語文「きつきの商売」)今日の西保先生の提案授業をベースに，今後の研究に活かしていきましょう。

事後研で話し合われた内容を簡単にお知らせします。

1 授業者より

- 子どもたちと一緒に作ったラーニングマウンテンについて、授業に活用したところを見てほしいという意図から本時を設定した。
- 前時までの授業について～音をくわしく読みたいと子どもからでた。また、わかった力を生かしてお話メモを書いた。
- 課題としては、今日読んだことでおさえたい力「様子を表す言葉があると、より気持ちが伝わる」ということを子どもたちの言葉から結びつけたかった。



2 各ブロック協議の記録・・・2枚目にあります！

3 教頭先生から(松本指導主事から)

教頭先生のお話は別紙でお知らせします。

- ラーニングマウンテンの活用が、本時において、子どもをどう主体的に動かしていたかが大切。～バットモデルの導入がよい。目標の共有ができています。何が足りないかが意識できている。
- 読む時間・書く時間の確保を行っていくと、交流が深まる。
- 子どもにゆだねる部分が早くあってもよかった。
- まずは、全職員でラーニングマウンテンを活用・共有していくことが必要。
- 主体的に動くための「材料」をどう活用していくか。



西保先生、お忙しい中のご準備、そして素晴らしい提案授業をありがとうございました！

低学年ブロック

成果

ラーニングマウンテンに意欲を向けさせる機会が度々あり、子どもたちも見逃しをしっかりと持ちて学んでいるように感じた。松村

わかる子には、学習の前後の流れが見え、意欲を持続することはできるのではないかと。金岡

教師が提示しおもしろくない話の例では、子どもたちがくいついて意見を出していたのがよかった。勝部

課題

どちらのお客さんが満足したかという課題だったが、野ねずみのところでは発表があったが野うさぎが後半になってうっとりが出たので、最初からもっと比較できるとよかった。勝部

導入の段階で、子どもから「どうやって」「どんな風に」ということに読めばいいと出ているので、そこで様子に着目するということをしっかりと押さえていけば、場面の様子をしっかりと読み取れたのではないかと。奥

意欲をもたせるラーニングマウンテンだが、ステージの作り方を間違えると、今までと同じ課題提示になる。金岡

その他

ラーニングマウンテンを作成している場の授業も見えたかったです。勝部

後半に、こうたろう君の考えをすくい上げ、周りの子どもたちが反応したこと、考えが深まり、よかったと思います。自信がなかった？子が一つのきっかけできつと発表してよかったと思える授業になったことが成果だ

と思います。鈴木由

野ねずみの家族の雨に対する印象の変化を叙述からしっかりと読み、満足している理由を明確にしていた。半谷

子どもの困り感や様子を見ながら、子どもに寄り添って課題を解決していくところが良かった。奥

行きつ戻りつ進むラーニングマウンテンのステージ、途中で書き直したり付け足したりすることはないのでしょ

「うっとり」など、言葉一つひとつの意味を他の学習との関連で考えたり、身近な場面ではいつ使うのかを考えさせていたのがよかった。半谷

高学年ブロック

今日の課題の「どちらが満足しているか？」は子どもからでてきた疑問だったのか？正直、どちらが満足しているかは難しい。ただ、きつづきの「音を楽しんでもらいたい」という思いは、比較することができたのでは

学習過程の共有という点で、課題設定に問題はなかったか。「どちらの」という課題に興味はあったのか。また、本時の目標と課題の整合性は？(や)

教師が子どもが発言すべき部分を言ってしまい、「なぜ」「どうして」と問うのではなく、～(地の文・言葉・叙述)ということ、〇〇ということだとぼくは考えますようにすると、表現の幅や語彙が広がる。(や)

本時の目標から読む活動が終末でも入っていれば良かったと思う。(長田)

野うさぎの部分があまり出ていなかった、最初から、野うさぎが「おとや」の音に気が入っているところ、野ねずみの家族の気に入っているところを出して、そこから比較に入っても良かったのかなと思いました。山

今後にもよるが、ラーニングマウンテンと、これまでの学習過程の違いは出るだろうか？八木

「へえ」「うかふ」など様子を表す言葉に気づかせることができてよかった。(利光)

「雨の音だ」は満足を表す言葉になるのでは。野ねずみたちは普段スルーしている雨の音にふれて、新たな発見があったのだから。長谷川

「雨の音だ。」は悩ましいですね。子どもたちは「書いていないけれど、楽しそう。」と想像したようです。この場面の他の叙述をもとに「楽しそう」と想像できたのと思うので、本時の目標は達成できたのでは。水谷

「自らの考えを伝え合う」というよりは、教師の問いかけや発問・指名に合わせて(応じて)つぶやく感じになっていたのでは。子どもたちの意欲や力量は十分に感じられた。(や)

①野ねずみの最後の5つの会話を板書すると、どれが様子を表す言葉かわかりやすかったのでは？②低位の子のためにも「うんと長い時間」も押さえるべきだった。(利光)

どのようなまとめを教師は今回期待していたのか？bの基進が知りたい。はせがわ

導入(つかむ)に時間をかけすぎた感もするが、全体で丁寧に学習過程を共有・確認することで、「みんなで山を登っていく」という意識が伝わってきた。水谷

「同じです」は必要なのか？また、同時発生的に子どもがつぶやくのではなく、一人ひとりが主体的に発言する・伝えるためには、整理が必要ではないか。

視点2

子どもたちの読み取りはよくできていたと思いますが、教師の発問によって子どもたちの考えが狭められてしまった部分もあったように感じました。「雨の音だ 雨の音だ」など 大原

「どちらが満足しているのか？」は子どもからでてきた学習への疑問なのか？正直、どちらが満足しているかは難しい。ただし、きつづきの「音を楽しんでもらいたい」という気持ちは比較することができたのでは はせ

ラーニングマウンテンについて、実際のところまだよくわかっていません。今後マウンテンの作り方の研修もしていただくと有り難い。

お話の前半の雨の音と最後の雨の音の違いに着目して、野ねずみの心の変化に気づいていたのは良かった。山

まとめを子どもたちに考えさせたのが良かった(長田)

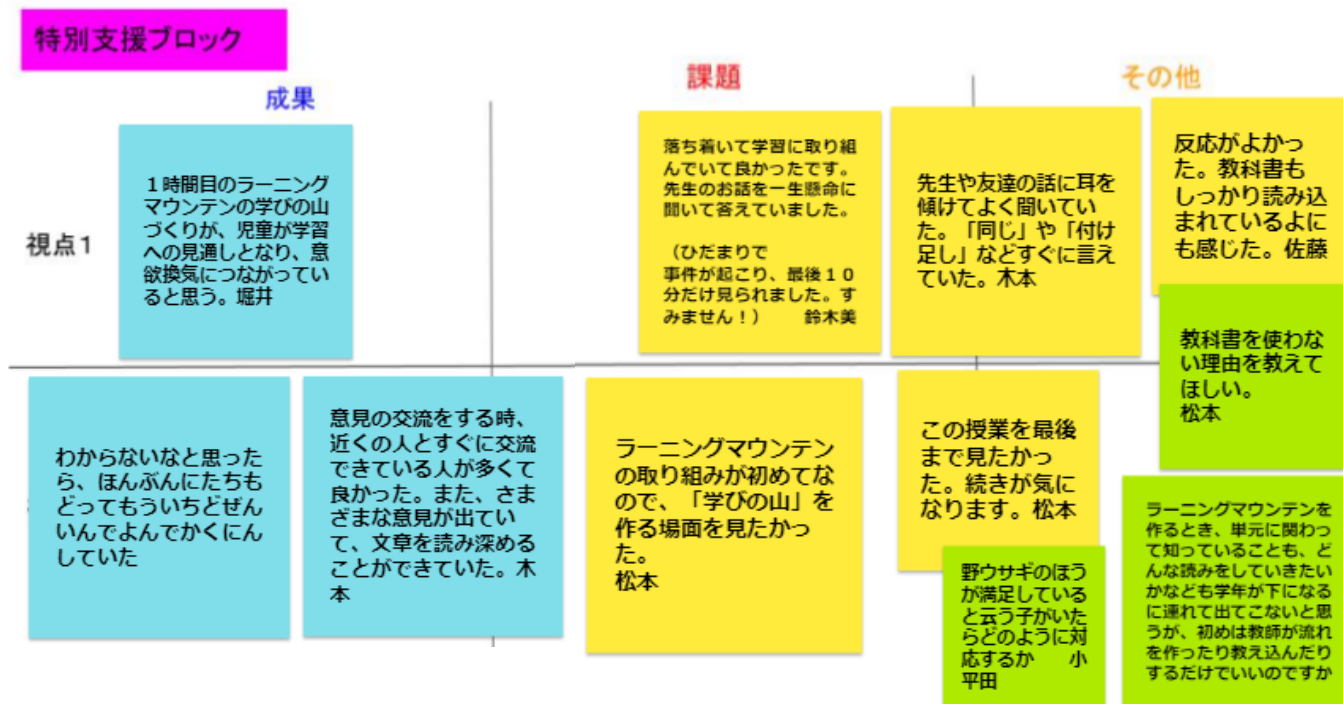
協議での質疑応答

- ・課題で比較を入れた理由は？

→様子がわかるところはないか？だけだと、色々出てくるがそこで終わってしまう。

叙述には気付くことができるが、叙述から登場人物の気持ちにフォーカスするために比較を入れた。

- ・教科書を使わないのは？
→ 1 と 2 の違いを全体的に見て比較するために本文を打ち直したプリントを使った。
- ・どんなまとめを期待していたか。
→ みんなが見つけた叙述から、様子を読むことで気持ちがわかるということに気付かせたかった。



板書記録

ま 野ねずみたちだと思えます。なぜなら

二	一	場面
・シャバシャバシャバ (葉っぱ) ・パシパシパシ (地面) ・バリバリバリ (葉っぱのかさ) ・ずつとおくふかく ・ドウドウドウ ・ザワザワザワ (風? 雨?) たくさん	・雨の音 ・そこら中のいろんな音 ・ふなの音、ぶなの木の音 ・四分音ぶん ・コーン ・こたま ・たいた	野ねずみの家族 ・野ねずみはみんなにこにこうなすて

か 五月二十三日(火)
ぎつつきの商売
どちらのおきやくさんの方がよりまん足しているだろうか。

夜きつつきはためきに
まつの木をついて聞かせました。
コンコンコン。